

UNCCA設立10周年記念誌に寄せて

元宇部市環境部長 山下 義晴

UNCCAが記念すべき10周年を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。私は、平成17年年4月から平成20年の3月までの3年間、宇部市環境部長の職にあり、UNCCAの独自事業及び宇部市との関連事業について、当時を懐かしく思い出しています。

宇部市地球温暖化対策ネットワークは、現在では略称を「UNCCA」とされていますが、私が就任当初は正式名称のみで、挨拶でも間違えては恥ずかしい思いをしたことを記憶しております。

また、事務局も市役所の環境共生課（当時）にあり、役員体制も副代表として私が環境部長という立場で入っており、その後、平成17年の7月に現在の位置に事務所を移されました。

設立当初は、宇部市の全面的な支援のもとでスタートし、役員体制も市の職員が何人か入っており、その後民間の事業として独立するということで、さまざまなUNCCA独自の事業も実施されることとなりました。

私は環境の仕事はこれまで全く経験がなく、当初はいろいろと戸惑いながら仕事をしてきましたが、その中で、毎月1回のUNCCA幹事会では、環境に関して造詣が深い方ばかりで、環境問題についていろいろな議論がなされ大変勉強になりました。

また、市の環境に関する事業もUNCCAとの関連が深くその中で一番思い出深いものと言えば、環境首都コンテストへの応募でした。

このコンテストには、宇部市は第1回目の平成13年から応募し、総合順位が93自治体中9位と上位に位置し、その後平成17年には総合順位は12位にとどまりましたが、地球温暖化防止部門では1位となり、これまでの活動が全国的に評価されました。これも、地球温暖化対策に取り組むUNCCAの存在と活動があったから可能であったと考えております。

その他、「宇部市もったいない運動」や「なの花プロジェクト」、「マイバックキャンペーン」等共に取り組みました。

以上思いつくままに書きましたが、このかけがえない地球を、未来ある子どもたちを含めすべての人々のために日々活動されている、宇部市地球温暖化対策ネットワーク（UNCCA）に敬意を表するとともに、今後もますますのご発展とご活躍を祈念しまして、お祝のことばとさせていただきます。



現在宇部市社会福祉協議会の
事務局長として活躍中の筆者